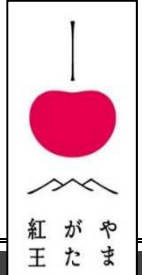




やまがた紅王通信

第4号 今年を振り返り、来年に向けた取組みを始めましょう

- 健全な樹体をつくり、花芽を充実させましょう
- 今年の収穫・出荷に関するアンケート調査にご協力ください



1. 高品質・大玉生産に向けて

■今年の振り返り

- ・凍霜害は少なかったが、開花期の高温乾燥の影響や他品種との開花期の差が大きかったことなどから、**結実ばらつきが大きかった**
- ・5月下旬～6月上旬の低温によって成熟が進んだことに加え、6月中旬以降の高温によって、**高温障害が多発した**
- ・着色は良かったが、肥大が劣り、**前年よりも小玉傾向であった**



第2回大玉コンテスト入賞果実

■次期作に向けた対応

(1) 基本的な管理を徹底し、樹体の拡大・花芽を充実させましょう

- ・植栽間隔の確認、園地環境の整備
 - ➔ 生育に応じて、**間伐・縮伐を実施（明るさの確保）**
- ・かん水の徹底 ➔ **特に苗木・若木は乾燥しやすいので、積極的にかん水**（100～200L/樹/週）
- ・防除の徹底 ➔ **葉を健全に保ちましょう**（昨年早期落葉した園地は特に注意!!）

(2) 安定生産に向けた対策も抜かりなく（防霜・結実・高温対策）

- ・他の品種よりも発芽期が早いため、**霜害には早期から注意が必要**
- ・ " 開花期が早いため、**結実対策は特に万全に（受粉樹には「紅秀峰」が適する）**
- ・収穫期の高温対策として、かん水、遮光などが効果的
 - ➔ 日当たりが良い園地では、**着色管理は最小限に（日焼け果、過着色に注意）**
- ・夏期（7月中旬～9月上旬頃）に遮光を行うことで双子果の発生を軽減することができる

2. 今年の収穫・出荷に関するアンケート調査にご協力ください

- 【調査内容】
- ・今年の収穫、出荷量について（階級・出荷先など）
 - ・今年、実施した気象災害対策（防霜・結実・高温障害など）について

【回答方法】（①または②の方法で回答をお願いします）

- ①別紙に記入の上、事務局にFAX（023-630-2456）または取りまとめ団体に提出
- ②右記QRコードから回答フォームにアクセスして回答 → → → →



令和6年8月9日（金）まで提出してください

暑い日が続きますので、熱中症や農作業事故に注意しましょう！

管理方法などで不明な点は、お近くの農業技術普及課まで問い合わせください

村山：023-621-8291、西村山：0237-86-8215、北村山：0237-47-8631
 最上：0233-29-1325、置賜：0238-57-3411、西置賜：0238-88-8213
 庄内：0235-64-2103、酒田：0234-22-6521

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課）